

FTP2166000R0
FTP-POS for Android
機能仕様書

第 2 版
2024 年 2 月 22 日

FCL コンポーネント株式会社

FTP2166000R0
FTP-POS for Android
機能仕様書

目次

1. 適用	5
1. 1. 制限事項	5
1. 2. 対応プリンタ	6
2. 使用方法	7
2. 1. プロジェクトへの追加	7
2. 2. USB デバイスの接続	8
2. 3. アプリケーションの開発	9
3. パッケージ仕様	10
3. 1. FtpConst クラス	12
3. 2. PosConst クラス	12
3. 3. PosPrinterConst クラス	12
3. 4. PosPrinter クラス	13
3. 5. PrinterConfiguration クラス	71
3. 6. PrintingQuality クラス	72
3. 7. ConnectionType 列挙型	73
3. 8. PrintingResolution 列挙型	73
3. 9. PrintingWidth 列挙型	73
3. 10. PrinterModel 列挙型	74
3. 11. PosException クラス	75
3. 12. DirectIOListener インターフェース	77
3. 13. StatusUpdateListener インターフェース	78
3. 14. DirectIOEvent クラス	79
3. 15. PosEvent クラス	80
3. 16. StatusUpdateEvent クラス	81
4. プリンタ仕様	82
4. 1. FTP-627DSL440	82
4. 2. FTP-62GDSL000	86
4. 3. FTP-63GDSL483	91
4. 4. FTP-629DSL310	94
4. 5. FTP-629DSL350	97
4. 6. FTP-639USL100	101
4. 7. FTP-629USL200	101
4. 8. FTP-62HDSL100	102
4. 9. FTP-62HWSL001	105
4. 10. FTP-62EDSL200	108
5. 修正履歴	111

6. ドライバ変更履歴..... 112

- ・本書の内容は予告なく変更する場合があります。
- ・本書の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、固くお断りします。
- ・本書および本書に記載された製品の利用に起因するいかなる損害に対しても、当社は責任を負うものではありません。

- ・Android™は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ・Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、FCL コンポーネント株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- ・Bluetooth®は、米国 Bluetooth SIG, INC.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- ・QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・Apache は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- ・その他、本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

1. 適用

FTP-POS for Android は、FCL コンポーネント社製プリンタを制御する Software Development Kit(SDK)です。

ライブラリセット名(提供ファイル名)	FTP2166000R0_FCLPrintLib_Android_Vxxx (FTP2166000R0_FCLPrintLib_Android_Vxxx.zip) xxx はファイルバージョン
ファイル構成	libftp2166000r0_ftppos.jar A1NC40216-6000R0_xx.pdf A1NC40216-6000R0~6_xx.pdf (xx はファイルバージョン) SampleCode.zip
オペレーティングシステム	Android 6.0 以上 全てのデバイスでの動作を保証するものではありません。
インターフェース	USB Bluetooth Classic

1. 1. 制限事項

- ・本製品はスレッドセーフではありません。プロセス内の 1 つのスレッドからのみ使用して下さい。
- ・同じプリンタに対し、複数のプロセスからの同時通信はできません。
- ・電源オフや通信切断復帰時、もしくはハードウェアリセットに自動再接続は行いません。close メソッドおよび open メソッドにより再接続して下さい。USB の場合デバイス名が変わるため、新しいデバイス名で PrinterConfiguration クラスのインスタンスを生成して下さい。

1. 2. 対応プリンタ

	USB	Bluetooth Classic	Wireless LAN
FTP-627DSL440	✓		
FTP-629DSL310	✓		
FTP-629DSL350	✓		
FTP-639USL100	✓		
FTP-639USL200	✓		
FTP-62EDSL200	✓		
FTP-62GDSL000	✓		
FTP-62GDSL100			
FTP-62GDSL110			
FTP-62GDSL120			
FTP-62GDSL200			
FTP-62GUSL000			
FTP-62GUSL070			
FTP-62GUSL100			
FTP-63GUSL000			
FTP-63GUSL070			
FTP-64GDSL130			
FTP-63GDSL483	✓		
FTP-83GDSL483			
FTP-62HDSL100	✓		
FTP-62HWSL001	✓	✓	

2. 使用方法

2. 1. プロジェクトへの追加

以下は Android Studio 3.5 の場合です。

- (1) アプリケーションのプロジェクト内の app/libs フォルダーに libftp2166000r0_ftppos.jar をコピーします。
- (2) Android Studio の[ファイル]メニューから[Project Structure]を選択し、[Dependencies]タブの画面を表示します。画面内の[+] アイコンをクリックし、[File dependency]を選択します。
libs に下に表示されている libftp2166000r0_ftppos.jar を選択して[OK]をクリックします。
- (3) [Dependencies]タブの画面の[OK]をクリックします。
- (4) [Project structure] ウィンドウを[OK]をクリックしてクローズします。

2. 2. USB デバイスの接続

USB で接続する場合、USB デバイスへのアクセス許可を取得する必要があります。

AndroidManifest.xml へ下記のコードを追記します。

```
<manifest ...>
<application>
<activity ...>
<intent-filter>
<action android:name="android.hardware.usb.action.USB_DEVICE_ATTACHED" />
</intent-filter>
<meta-data android:name="android.hardware.usb.action.USB_DEVICE_ATTACHED"
android:resource="@xml/device_filter" />
. . . . .
```

res/xml/device_filter.xml を追加し、下記のように接続する USB デバイスのベンダーID 及びプロダクト ID を追記します。
ベンダーID およびプロダクト ID はプリンタの製品仕様書をご参照下さい。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<resources>

    <!--FTP-629DSL350-->
    <usb-device vendor-id="1072" product-id="1565" />

    <!--FTP-62GDSL000-->
    <usb-device vendor-id="1072" product-id="1571" />
```


2. 3. アプリケーションの開発

アプリケーションは以下の手順にてプリンタと通信します。詳細はサンプルコードを参照して下さい。

- ①PosPrinter#open メソッド: デバイスをオープンします。
- ②PosPrinter#claim メソッド: デバイ스에 排他アクセスできるようにするために呼び出します。
- ③PosPrinter#deviceEnabled プロパティ: デバイスを動作させる場合 **true** に設定します。
- ④デバイスを使用します。(各プロパティ・メソッド・イベント)
- ⑤PosPrinter#deviceEnabled プロパティ: **false** に設定してデバイスをディセーブルにします。
- ⑥PosPrinter#release メソッド: デバイ스의 排他アクセスを解除するために呼び出します。
- ⑦PosPrinter#close メソッド: デバイスを解放します。

3. パッケージ仕様

本仕様書に記載されていないパッケージ、クラス、プロパティ、メソッド、列挙型は使用しないでください。

本 SDK ではデバイスの属性や設定値を、プロパティを用いて操作します。

プロパティは読み専用のもので、読み、書き込み可能なものの 2 種類が存在します。書き込み可能なプロパティには、R/W をプロパティ名の横に記述しています。

プロパティの値を取得するには、次の形式のメソッドを使用します。

```
Type getSampleProperty();
```

プロパティが書き込み可能な場合、次の形式のメソッドを使用してプロパティの値を設定します。

```
void setSampleProperty(Type value);
```

Type はプロパティのデータ型、SampleProperty はプロパティ名です。

com.fcl.components.ftp2166000r0.ftppos パッケージ

クラス	
FtpConst	FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。
PosConst	FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。
PosPrinter	プリンタを制御するクラスです。
PosPrinterConst	FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。
PrinterConfiguration	接続するプリンタの設定を行うクラスです。
PrintingQuality	印字品質の設定を行います。
列挙型	
ConnectionType	接続方法の列挙型です。
PrinterModel	プリンタモデルの列挙型です。
PrintingResolution	解像度の列挙型です。
PrintingWidth	印字幅の列挙型です。
例外	
PosException	本 SDK 内で例外が発生した場合にスローされます。

com.fcl.components.ftp2166000r0.ftppos.event パッケージ

インターフェース	
DirectIOListener	DirectIOEvent イベントを受け取るためのリスナーインターフェースです。
StatusUpdateListener	StatusUpdateEvent イベントを受け取るためのリスナーインターフェースです。
クラス	
DirectIOEvent	プリンタ固有のステータスなどを通知時に発生するイベントです。
PosEvent	本 SDK のイベントクラスの抽象クラスです。
StatusUpdateEvent	デバイスのステータス変化時に発生するイベントです。

3. 1. FtpConst クラス

`public final class FtpConst extends Object`

FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。

3. 2. PosConst クラス

`public final class PosConst extends Object`

FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。

3. 3. PosPrinterConst クラス

`public final class PosPrinterConst extends Object`

FTP-POS で使用する定数が定義されたクラスです。

3. 4. PosPrinter クラス

```
public final class PosPrinter extends Object
```

プリンタと通信するクラスです。

3. 4. 1. 印字データとエスケープシーケンス

以下のエスケープシーケンスをサポートします。

指定時のみ、動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC #P	<p>レシート用紙を切ります。文字'#'は、要求されたカットのパーセンテージを示す ASCII10 進数(1~100)の文字列です。'#'を省略することも可能です。'1' ~ '99' の場合はパーシャルカット、'#'省略時、及び'100'が指定された場合フルカットを実行します。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合(印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合)は、バッファリングされたデータを印字後にカット動作を行います。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
フィードと用紙カット	ESC #FP	<p>RecLinesToPaperCut 行分の紙送りをした後、レシート用紙をカットします。文字'#'は、「用紙カット」エスケープシーケンスで定義されています。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合(印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合)は、バッファリングされたデータを印字後にカット動作を行います。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
ビットマップ印刷	ESC #B	<p>setBitmap メソッドで保存したビットマップを印刷します。'#'はビットマップ番号で、'1~255'のみサポートしています。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度回転および左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
トップロゴ印刷	ESC tL	<p>setLogo メソッドで保存したトップロゴを印刷します。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p>
ボトムロゴ印刷	ESC bL	<p>setLogo メソッドで保存したボトムロゴを印刷します。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p>
複数行フィード	ESC #IF	<p>複数行のフィードをします。文字'#'は、フィードする行数を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 行分のフィードをします。'#'は'0' ~ '255'までの値をサポートします。印字データがなければ改行量にしたがった改行動作を実行し、印字データがある場合には、印字データの高さ分の改行動作を実行します。</p>

単位フィード	ESC #uF	MapMode で指定された単位でフィードをします。文字'#'は、フィード量を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 単位分のフィードをします。'#'は PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS 単位に変換した値が'0' ~ '255'となる値をサポートします。改行量は、プリンタに設定されている改行量に影響されません。
逆フィード	ESC #rF	複数行の逆フィードをします。文字'#'は、フィードする行数を示す ASCII10 進数の文字列です。もし、'#'が省略されていれば、1 行分の逆フィードをします。'#'は'0' ~ '255'までの値をサポートします。印字データがなければ改行量にしたがった逆フィード動作を実行し、印字データがある場合には、印字データの高さ分の逆フィード動作を実行します。

印字時に、動作するエスケープシーケンス

各印刷メソッドの終わりや、あるいは”ノーマル”シーケンスによってリセットされる属性があります。

名称	データ	内容
ボールド	ESC bC	ボールド体で印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
アンダーライン	ESC #uC	アンダーラインと共に印刷します。文字'#'は、アンダーラインの太さ(ドット単位)を示す ASCII10 進数の文字列です。 省略時は、1ドットのアンダーラインを印字します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
反転文字	ESC rvC	明暗を反対にして印刷します。 プリンタモデルによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
縦横 1 倍角	ESC 1C	通常の大きさと印刷します。
横倍角	ESC 2C	横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC 3C	縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC 4C	縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC #hC	文字を横方向に拡大して印刷します。文字"#"は、横方向の拡大倍率を示す ASCII10 進数の文字列です。 "#"省略時は 1 倍の大きさと印刷します。 プリンタによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。
縦倍率	ESC #vC	文字を縦方向に拡大して印刷します。文字"#"は、縦方向の拡大倍率を示す ASCII10 進数の文字列です。 "#"省略時は 1 倍の大きさと印刷します。 プリンタによって対応が異なります。 プリンタ仕様 をご参照下さい。

中央揃え	ESC cA	<p>中心に以下のテキストを整列させます。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
右寄せ	ESC rA	<p>右に以下のテキストを整列させます。</p> <p>rotatePrint メソッドによる右 90 度もしくは左 90 度回転時はサポートしません。</p> <p>プリンタモデルによって対応が異なります。プリンタ仕様をご参照下さい。</p>
ノーマル	ESC N	POS プリンタの属性を通常の状態に回復させます。

3. 4. 2. コンストラクター

形式

```
public PosPrinter()
```

説明

PosPrinter クラスのインスタンスを生成します。

3. 4. 3. プロパティ

BinaryConversion プロパティ R/W

説明

OPOS の BinaryConversion プロパティと同じ機能ですが **printBarCode** メソッドでのみ有効です。

printBarCode メソッドでバイナリデータを指定する際、本コマンドを用いてニブルモードもしくはデシマルモードに変更して下さい。

この設定は **claim** メソッドにより PosConst.PTR_DIO_BC_NONE に初期化されます。

本プロパティは **directIO** メソッドで読み込み及び書き込みを行います。

詳細は [directIO_PTR_DIO_GET_BINARY_CONVERSION](#) および [directIO_PTR_DIO_SET_BINARY_CONVERSION](#) を参照してください。

CharacterSet プロパティ R/W

形式

int CharacterSet;

説明

文字の印字に用いるキャラクターを設定します。

このプロパティは、**open** メソッド後、最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

プリンタが搭載する ROM により印刷可能な文字は異なります。

このプロパティは、**open** メソッドで PTR_CS_ASCII に初期化されます。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
126	タイ字
437	CP437(USA:Standard Europe)文字セットを選択します。0x20～0x7E、0x80～0xFE をサポートします。
932	日本語 Shift-JIS (CP932)。
950	繁体字 Big5
PTR_CS_ASCII	ASCII キャラクターを設定します。0x20 と 0x7F の間の ASCII キャラクターをサポートします。
PTR_CS_ANSI	ANSI キャラクターを設定します。0x20～0x7E をサポートします。プリンタモデルによっては、0x80(‘€’)の印刷が可能です。 プリンタ仕様 を参照して下さい。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

値	意味
E_ILLEGAL	不正な値が使用されました。

Claimed プロパティ

形式

boolean Claimed;

説明

true: デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

false: デバイスはほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。

Claimed プロパティの値は **open** メソッドによって **false** に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

CoverOpen プロパティ

形式

boolean CoverOpen;

説明

true: POS プリンタのカバーが開いている状態です。

false: POS プリンタのカバーが閉まっています。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

DeviceEnabled プロパティ R/W

形式

boolean DeviceEnabled;

説明

true:

デバイスはイネーブルにされています（動作状態です）。**true** に変更するとイネーブルにされます。

false:

デバイスはディセーブルにされています。**false** に変更すると、ディセーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションはこのプロパティを **true** に設定しなければなりません。

また、**DeviceEnabled** プロパティが **true** の間、デバイスの接続状態が通知されます。

このプロパティは **open** メソッドにより **false** に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

Description プロパティ

形式

String Description;

説明

会社名が設定されています。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

FreezeEvents プロパティ R/W

形式

boolean FreezeEvents;

説明

true の場合、イベントが通知されません。

凍結が解除されるまで、イベントはキューで保持されます。

false の場合、イベントが通知されます。凍結されていた間に保持されたイベントがあれば、FreezeEvents を false に変更すると、そのイベントが通知されます。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

このプロパティは open メソッドにより false に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

MapMode プロパティ R/W

形式

int MapMode;

説明

POS プリンタのマッピングモードを示します。マッピングモードは他のプロパティで使用するラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。

以下のマップモードをサポートしています。()内の値は、単位あたりを dot 換算した値です。

値	意味
---	----

PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS	POS プリンタのドット幅 (1 dot)
-----------------------------	-----------------------

MapMode を設定すると、RecLineSpacing、RecLineWidth、RecLineHeight も変化します。

このプロパティは、open メソッドにより PTR_MM_DOTS に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

ErrorCode	意味
-----------	----

PosConst E_ILLEGAL	不正なマッピングモードが指定されました。
--------------------	----------------------

PowerNotify プロパティ R/W

形式

`int PowerNotify;`

説明

アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプです。

電源通知機能を示す値は下記のとおりです。

値	意味
PosConst.PN_DISABLED	アプリケーションに対していかなる電源通知を提供しません。電源通知に関する StatusUpdateEvent は通知されず、また PowerState プロパティには何も設定されません。
PosConst.PN_ENABLED	DeviceEnabled が true に設定されると、電源通知に関する StatusUpdateEvent の通知、 PowerState プロパティの更新が行われます。

PowerNotify プロパティは、デバイスがディセーブルの間、すなわち **DeviceEnabled** プロパティが **false** の間のみ設定が可能です。

このプロパティは **open** メソッドにより PosConst.PN_DISABLED に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

値	意味
PosConst.E_ILLEGAL	次のいずれかが発生しました: <ul style="list-style-type: none">・ デバイスは既にイネーブル。・ プロパティ設定値が不正。

PowerState プロパティ

形式

`int PowerState;`

説明

PowerNotify が **PN_ENABLED** の間、現在のデバイスの電源状態が設定されます。電源状態を示す値は下記のとおりです。

値	意味
PosConst.PS_UNKNOWN	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 PowerNotify = PosConst.PN_DISABLED で電源通知機能がディセーブル。 DeviceEnabled = false 、電源状態監視はデバイスがイネーブルになるまで動作せず。
PosConst.PS_ONLINE	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。
PosConst.PS_OFF_OFFLINE	デバイスは電源オフ、または本体に接続されていない、もしくはオフライン状態です。 プリンタモデルおよび接続インターフェースによって通知される状態が異なります。 プリンタ仕様 を参照して下さい。

このプロパティは **open** メソッドにより PosConst.PS_UNKNOWN に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

RecEmpty プロパティ

形式

boolean RecEmpty;

説明

true: レシート用紙は紙切れです。

false: レシート用紙はあります。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにしている間に初期化され、現状を保持します。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

RecLetterQuality プロパティ R/W

形式

boolean RecLetterQuality;

説明

true: レシートは品質優先で印刷されます。(中速モードでの印刷)

false: レシートは速度優先で印刷されます。(高速モードでの印刷)

このプロパティは、**open** メソッドにより **false** に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

RecLineChars プロパティ R/W

形式

`int RecLineChars;`

説明

レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。

[プリンタ仕様](#)の”フォント”を参照して下さい。

この値が、サポートされている行文字幅に変われば、文字幅はその指定された値に設定されます。正確な幅がサポートできない場合、サポートされている行文字幅の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。(例えば、印字幅 576 ドット時に 40 をセットした場合、実際の値は 48 が選択されます)。もし、文字幅がサポートできなければ、例外がスローされます。

RecLineChars を設定することにより、**RecLineHeight**, **RecLineSpacing**, **RecSidewaysMaxChars**, **RecSidewaysMaxLines** プロパティも更新されます。

このプロパティは、**open** メソッドにより初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

値	意味
<code>PosConst.E_ILLEGAL</code>	不正な行文字幅が指定されました。

RecLineHeight プロパティ R/W

形式

`int RecLineHeight;`

説明

レシート印刷の高さです。**MapMode** で定義された単位で表記します。

RecLineChars が変わると、**RecLineHeight** は、選択された幅に対するデフォルトの行高に更新されます。

このプロパティは、**open** メソッドにより初期化されます。

値は [プリンタ仕様](#) を参照して下さい。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

値	意味
<code>PosConst.E_ILLEGAL</code>	本プロパティの値は設定できません。取得のみ可能です。

RecLineSpacing プロパティ R/W

形式

int RecLineSpacing;

説明

通常文字の印刷行の高さを示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。本プロパティは **MapMode** で定義された単位で表記します。

RecLineChars が変わったとき、新しい **RecLineHeight** が **RecLineSpacing** に指定された値より大きい場合は、**RecLineHeight** と同じ値が設定されます。

RecLineSpacing の値は、**open** メソッド後に、POS プリンタのデフォルトの行間に初期化されます。

16(dot) ~ 255(dot) の範囲で設定が可能となります。

プリンタ仕様により **RecLineHeight** と **RecLineSpacing** が等しい場合、スムーズに印刷することができません。

RecLineSpacing は **RecLineHeight** よりも大きな値を指定することを推奨します。

RecLineHeight よりも小さい値に設定することでできません。

このプロパティは、**open** メソッドにより初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

値	意味
PosConst.E_ILLEGAL	プロパティの設定範囲が不正です。

RecLinesToPaperCut プロパティ

形式

int RecLinesToPaperCut;

説明

レシート用紙が切られる前に、進まなければならない行数を保持します。

これは用紙カット機構に着くまでの行数です。

RecLineChars プロパティや **RecLineSpacing** プロパティを変えることによって、このプロパティは更新されます。

このプロパティは、**open** メソッドにより初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

RecLineWidth プロパティ

形式

int RecLineWidth;

説明

RecLineChars の一行の幅です。**MapMode** で定義された単位で表記します。

このプロパティは、**open** メソッド後に初期化されます。

値はプリンタモデルによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

RecNearEnd プロパティ

形式

boolean RecNearEnd;

説明

true: レシート用紙がニアエンドです。

false: ニアエンドではありません。

このプロパティは、デバイスをイネーブルにした時に初期化され、イネーブル状態の間、現在値が保持されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

形式

int RecSidewaysMaxChars;

説明

サイドウェイモード(左右 90 度回転印刷)において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。

値はプリンタモデルによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このプロパティは、**open** メソッド後に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

RecSidewaysMaxLines プロパティ

形式

int RecSidewaysMaxLines;

説明

サイドウェイモード(左右 90 度回転印刷)において、印刷される最大行数です。

RecLineWidth プロパティを **RecLineSpacing** プロパティで割った値となります。ただし、割った値の余りが、**RecLineHeight** プロパティ(フォントの高さ)と等しいか、あるいは大きい場合は、割った値に +1 された値となります。従って **RecLineSpacing** プロパティを変えることにより、このプロパティは変わります。

本プロパティは、**open** メソッド後最初にデバイスをイネーブルにした時に初期化されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

RotateSpecial プロパティ R/W

形式

`int RotateSpecial;`

説明

バーコードの回転方向を示します。

このプロパティは、`open` メソッドにより `PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL` に初期化されます。

本プロパティで設定可能な回転方向であっても、プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

このプロパティには、次に示す値の内の一つが設定されます。

値	意味
---	----

<code>PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL</code>	
--	--

	バーコードは通常の方向に印刷できます。
--	---------------------

<code>PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90</code>	
---	--

	バーコードは右 90 度に回転印刷できます。
--	------------------------

<code>PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90</code>	
--	--

	バーコードは左 90 度に回転印刷できます。
--	------------------------

<code>PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180</code>	
---	--

	バーコードは 180 度(倒立)に回転印刷できます。
--	----------------------------

例外

`PosException` がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

値	意味
---	----

<code>PosConst.E_ILLEGAL</code>	
---------------------------------	--

	不正なプロパティ値が指定されました。
--	--------------------

State プロパティ

形式

`int State;`

説明

デバイスの現在の状態を示します。

値	意味
---	----

<code>PosConst.S_CLOSED</code>	
--------------------------------	--

	デバイスはクローズしています。(デフォルト)
--	------------------------

<code>PosConst.S_IDLE</code>	
------------------------------	--

	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。
--	---------------------------

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

Version プロパティ

形式

`int Version;`

説明

バージョン番号を示します。

このプロパティはいつでも読み取り可能です。

3. 4. 4. メソッド

addDirectIOListener メソッド

形式

```
public void addDirectIOListener (DirectIOListener listener);
```

パラメーター

説明

listener

DirectIOListener 型のリスナーインターフェース

説明

DirectIOEvent イベントを受信するリスナーインターフェースを設定します。

listener が `null` の場合、何も行われません。

設定可能なリスナーは 1 つのみです。リスナーが設定済みで実行された場合、上書きされます。

addStatusUpdateListener メソッド

形式

```
public void addStatusUpdateListener (StatusUpdateListener listener);
```

パラメーター

説明

listener

StatusUpdateListener 型のリスナーインターフェース

説明

StatusUpdateEvent イベントを受信するリスナーインターフェースを設定します。

listener が `null` の場合、何も行われません。

設定可能なリスナーは 1 つのみです。リスナーが設定済みで実行された場合、上書きされます。

claim メソッド

形式

public void claim (int *timeout*) throws PosException;

timeout パラメーターは、排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間(ミリ秒単位)を示します。

ゼロの場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに返します。

PosConst.FOREVER が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで必要なだけ待ちます。

説明

デバイスに対して排他アクセスを要求するときに、このメソッドを呼び出します。

POS プリンタデバイスは排他アクセス権を獲得しなければ、使用することはできません。

成功すると、**Claimed** プロパティは **true** に設定されます。

claim メソッドを実行すると、POS プリンタデバイスとの接続を確立し、処理可能な状況であることを確認します。処理可能であれば、**claim** メソッドは正常終了します。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	無効な <i>timeout</i> が指定されています。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタがオフラインです。これらを解消した後、もう一度実行してください。このエラーはプリンタがエラー状態(カバーオープンや用紙切れ等)でも発生します。
PosConst.E_FAILURE	POS プリンタに接続できませんでした。設定が間違っているか他のインスタンスが使用している可能性があります。
PosConst.E_TIMEOUT	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが <i>timeout</i> 時間(ミリ秒単位)が過ぎました。もしくは、 <i>timeout</i> 時間(ミリ秒)経過しても、POS プリンタデバイスが処理可能な状態になりませんでした。

clearOutput メソッド

形式

```
public void clearOutput () throws PosException;
```

説明

rotatePrint メソッド、transactionPrint メソッドにより回転モード、一括処理モード中の場合、解除を行いません。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

close メソッド

形式

```
public void close () throws PosException;
```

説明

デバイスとそのリソースを解放するときに呼び出します。

DeviceEnabled プロパティが **true** の場合、まずデバイスがディセーブルにされます。

Claimed プロパティが **true** の場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。

イベント処理中(イベントハンドラ内)では実行しないでください。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

cutPaper メソッド

形式

public void cutPaper (int *percentage*) throws PosException;

percentage は、カットすべき用紙のパーセンテージを示します。PosPrinterConst.PTR_CP_FULLCUT または 100 が指定された場合は“フルカット”、1～99 が指定された場合は“パーシャルカット”となります。

説明

レシート用紙を切る時にこのメソッドを呼び出します。

プリンタモデルによっては非対応場合があります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。**printNormal** メソッド呼び出しの際に、用紙カットのエスケープシーケンスを用いても用紙カットを行うことができます。尚、POS プリンタにバッファリングされているデータがある場合（印字要求をしたが、POS プリンタに印字されていない場合）は、バッファ内のデータ印字後にカットされます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	不正なパーセンテージが指定されました。または、本プリンタは用紙カットに対応していません。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
PosConst.E_BUSY	出力中なので実行できません。

形式

`public void directIO (int command, int[] data, Object object) throws PosException;`

パラメーター	説明
<i>command</i>	コマンド番号。
<i>data</i>	要素数 1 の int 型配列。値はコマンド番号によって変化します。
<i>object</i>	データ。データ型および値はコマンド番号によって変化します。

command パラメーターの値は以下の通りです。

値	機能
FtpConst.PTR_DIO_SET_QR_ENCODING	QRコードのエンコーディング設定
FtpConst.PTR_DIO_GET_QR_ENCODING	QRコードのエンコーディング取得
FtpConst.PTR_DIO_SET_BINARY_CONVERSION	BinaryConversion の値の設定
FtpConst.PTR_DIO_GET_BINARY_CONVERSION	BinaryConversion の値の取得
FtpConst.PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA	バイナリデータの送信
FtpConst.PTR_DIO_GET_HALFTONE	ハーフトーンの取得
FtpConst.PTR_DIO_SET_HALFTONE	ハーフトーンの設定
FtpConst.PTR_DIO_GET_PRINT_SPEED	印刷速度の取得
FtpConst.PTR_DIO_SET_PRINT_SPEED	印刷速度の設定
FtpConst.PTR_DIO_GET_IMAGE_PRINT_COMMAND	イメージ印刷モードの取得
FtpConst.PTR_DIO_SET_IMAGE_PRINT_COMMAND	イメージ印刷モードの設定

説明

command パラメーターで指定された内容に従って、各機能を実行します。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

PTR_DIO_GET_QR_ENCODING

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_GET_QR_ENCODING
<i>data</i>	現在の設定が保持されます。
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

QR コードのエンコーディングを取得します。
この値は、**claim** メソッドにより FtpConst.PTR_DIO_SHIFT_JIS に初期化されます。
data の意味は [PTR_DIO_SET_QR_ENCODING](#) を参照してください。

PTR_DIO_SET_QR_ENCODING

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_SET_QR_ENCODING
<i>data</i>	FtpConst.PTR_DIO_SHIFT_JIS、 FtpConst.PTR_DIO_UTF8 または FtpConst.PTR_DIO_GBK
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

QR コードのエンコーディングを設定します。

この値は、**claim** メソッドにより FtpConst.PTR_DIO_SHIFT_JIS に初期化されます。

BynaryConversion が PosConst.BC_NONE 以外の場合、エンコーディングはシフト JIS 固定となります。

data が FtpConst.PTR_DIO_SHIFT_JIS ならば、**printBarCode** メソッドは QR コードをシフト JIS でエンコードして印刷します。

data が FtpConst.PTR_DIO_UTF8 ならば、**printBarCode** メソッドは QR コードを UTF-8 でエンコードして印刷します。

data が FtpConst.PTR_DIO_GBK ならば、**printBarCode** メソッドで QR コードを GBK でエンコードして印刷します。

PTR_DIO_GET_BINARY_CONVERSION

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_GET_BINARY_CONVERSION
<i>data</i>	現在の設定が保持されます
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

BinaryConversion を取得します。

data の値は [PTR_DIO_SET_BINARY_CONVERSION](#) を参照してください。

PTR_DIO_SET_BINARY_CONVERSION

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_SET_BINARY_CONVERSION
<i>data</i>	PosConst.BC_NONE、 PosConst.BC_NIBBLE または PosConst.BC_DECIMAL
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

BinaryConversion を設定します。本プロパティは **printBarCode** でのみ有効です。

data の値は以下の通りです。

値	意味
PosConst.BC_NONE	データは変換されません。(デフォルト)
PosConst.BC_NIBBLE	各バイトは二つの文字に変換されます。 各データバイトは以下のように変換されます。 第一文字=0x30+データバイトの 7-4 ビット 第二文字=0x30+データバイトの 3-0 ビット 例: バイト値 154=0x9A は文字 0x39 0x3A (文字列"9:") の文字に変換されます。
PosConst.BC_DECIMAL	各バイトは三つの文字に変換されます。 例1: バイト値 154=0x9A は、文字 0x31 0x35 0x34 になります (=文字列"154")。 例2: バイト値 8 は、文字 0x30 0x30 0x38 になります (=文字列"008")。

PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA
<i>data</i>	使用しません。null を指定して下さい。
<i>object</i>	送信するバイナリデータを byte[] 型で指定して下さい。 最大サイズは 192KB(192 × 1024 バイト)です。

説明

バイナリデータを送信します。

送信するデータによっては他のメソッドの動作に影響があります。

transactionPrint による一括処理および **rotatePrint** によるバッファリングは行われません。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	以下のエラーの内、一つが起きました。 <ul style="list-style-type: none">・ <i>object</i> が byte[] 型ではありません。・ データ数が範囲外です。・ <i>object</i> が null です。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
PosConst.E_BUSY	出力中なので実行できません。

PTR_DIO_GET_HALFTONE

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_GET_HALFTONE
<i>data</i>	現在の設定が保持されます。
<i>object</i>	現在の設定が保持されます。 要素数 1 の int 型配列を指定してください。

説明

ハーフトーンを取得します。
この値は、**claim** メソッドにより FtpConst.PTR_DIO_HALFTONE_BAYER に初期化されます。
data および *object* の意味は [PTR_DIO_SET_HALFTONE](#) を参照してください。

PTR_DIO_SET_HALFTONE

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FTpConst.PTR_DIO_SET_HALFTONE
<i>data</i>	下記を参照して下さい。
<i>object</i>	下記を参照して下さい。

説明

printBitmap メソッド及び **setBitmap** メソッドのハーフトーンを設定します。

data および *object* の値は以下の通りです。

値	意味
FtpConst.PTR_DIO_HALFTONE_BAYER	Bayer 4x4 でディザリングされます。 <i>object</i> は null を設定して下さい。
FtpConst.PTR_DIO_HALFTONE_BLACK_BOUNDARY	ビットマップの各ドットの輝度が <i>object</i> で指定した境界値以上なら白、境界値未満なら黒に変換します。 <i>object</i> は要素数 1 の int 型配列を指定し、0～255 の範囲で指定して下さい。

PTR_DIO_GET_PRINT_SPEED

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_GET_PRINT_SPEED
<i>data</i>	現在の設定が保持されます。
<i>object</i>	現在の設定が保持されます。 要素数 1 の int 型配列を指定して下さい。

説明

印刷速度を取得します。
この値は、**claim** メソッドにより FtpConst.PTR_DIO_PRINT_SPEED_LETTER_QUALITY に初期化されます。
data および *object* の意味は [PTR_DIO_SET_PRINT_SPEED](#) を参照してください。

PTR_DIO_SET_PRINT_SPEED

形式

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_SET_PRINT_SPEED
<i>data</i>	下記を参照して下さい。
<i>object</i>	下記を参照して下さい。

説明

印刷速度を指定します。

data および *object* の値は以下の通りです。

値	意味
---	----

FtpConst.PTR_DIO_PRINT_SPEED_LETTER_QUALITY

RecLetterQuality の印刷速度を使用します。*object* は null を指定して下さい。

FtpConst.PTR_DIO_PRINT_SPEED_ESC_S

ESC s コマンドで印刷速度を指定します。

本設定を有効にする場合、**RecLetterQuality** 設定は無効になります。

object は要素数 1 の int 型配列を指定し、ESC s コマンドのパラメーター *n* を指定して下さい。ESC s コマンドについてはプリンタコマンド仕様書を参照して下さい。

FtpConst.PTR_DIO_PRINT_SPEED_FS_S

FS s コマンドで印刷速度を指定します。

本設定を有効にする場合、**RecLetterQuality** 設定は無効になります。

object は要素数 1 の int 型配列を指定し、FS s コマンドのパラメーター *n* を指定して下さい。FS s コマンドについてはプリンタコマンド仕様書を参照して下さい。

PTR_DIO_GET_IMAGE_PRINT_COMMAND

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_GET_IMAGE_PRINT_COMMAND
<i>data</i>	現在の設定が保持されます。
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

現在のイメージ印刷コマンドを取得します。

この値は、**open** メソッドにより FtpConst.PTR_DIO_PRINT_COMMAND_HIGH_SPEED に初期化されます。

data の意味は [PTR_DIO_SET_IMAGE_PRINT_COMMAND](#) を参照してください。

PTR_DIO_SET_IMAGE_PRINT_COMMAND

パラメーター	説明
<i>command</i>	FtpConst.PTR_DIO_SET_IMAGE_PRINT_COMMAND
<i>data</i>	下記を参照して下さい。
<i>object</i>	使用しません。null を指定して下さい。

説明

イメージ印刷コマンドを指定します。デフォルトは FtpConst.PTR_DIO_PRINT_COMMAND_HIGH_SPEED です。
本機能は回転なし及び 180 度回転時のみ有効です。

data の値は以下の通りです。

値	意味
FtpConst.PTR_DIO_PRINT_COMMAND_HIGH_SPEED	高速一括印字で印刷します。高速一括印字非対応の場合、ビットイメージで印刷されます。
FtpConst.PTR_DIO_PRINT_COMMAND_BIT_IMAGE	ビットイメージ印字で印刷します。
FtpConst.PTR_DIO_PRINT_COMMAND_PAGE_MODE	ページモードで印刷します。ページモード非対応の場合、ビットイメージで印刷されます。

markFeed メソッド

形式

public void markFeed (int *type*) throws PosException;

type パラメーターは、マーク付き用紙のハンドリングの種類を示します。

type パラメーターの値は、以下の通りです。

値	意味
---	----

PosPrinterConst.PTR_MF_TO_NEXT_TOF	
------------------------------------	--

	次のマーク付用紙の先頭を印字位置までフィードします。
--	----------------------------

説明

このメソッドは、レシート用紙用のマーク付用紙を利用するために使用されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
-----------	----

PosConst.E_ILLEGAL	不正なパラメーターが指定されました。
--------------------	--------------------

PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
-----------------------	-------------------------

PosConst.E_BUSY	出力中なので実行できません。
-----------------	----------------

open メソッド

形式

public void open (PrinterConfiguration printerConfiguration, Context context) throws PosException;

パラメーター

説明

printerConfiguration

プリンタ設定を指定します。

context

アプリケーションコンテキストを指定します。

説明

デバイスをオープンするときに呼び出します。

USB 接続以外の場合 *context* は null でも問題ありません。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode

意味

PosConst.E_ILLEGAL

既にオープンしています。

PosConst.E_EXTENDED

ErrorCodeExtended = FtpConst.EPTR_NEEDCONTEXT:
アプリケーションコンテキストが必要です。

printBarCode メソッド

形式

```
public void printBarCode (int station, String data, int symbology, int height, int width, int alignment, int textPosition)
throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>station</i>	PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定
<i>data</i>	バーコードの文字列。データのフォーマットは BinaryConversion に依存します。詳細は directIO メソッド を参照してください。
<i>symbology</i>	使用されるバーコードタイプ。(以下の値を参照)
<i>height</i>	バーコードの高さ。 MapMode で定義された単位で表記します。1～255dot まで設定可能です。
<i>width</i>	バーコードの幅。 MapMode で定義された単位で表記します。正立／倒立の場合は、 RecLineWidth の値まで設定可能です。また、右左 90 度回転の場合の値はプリンタによって異なります。
<i>alignment</i>	バーコードの位置。下記の値を参照。
<i>textPosition</i>	文字列の位置。プリンタによっては非対応です。以下の値を参照。

symbology パラメーターの値は以下の通りです。プリンタによって対応するバーコードは異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

値	意味
PosPrinterConst.PTR_BCS_UPCA	UPC-A
PosPrinterConst.PTR_BCS_UPCE	UPC-E
PosPrinterConst.PTR_BCS_EAN8	EAN 8 (= JAN 8)
PosPrinterConst.PTR_BCS_JAN8 J	AN 8 (= EAN 8)
PosPrinterConst.PTR_BCS_EAN13	EAN 13 (= JAN 13)
PosPrinterConst.PTR_BCS_JAN13	JAN 13 (= EAN 13)
PosPrinterConst.PTR_BCS_ITF	Interleaved 2 of 5(ITF)
PosPrinterConst.PTR_BCS_Codabar	Codabar(NW-7)
PosPrinterConst.PTR_BCS_Code39	Code 39
PosPrinterConst.PTR_BCS_Code128	Code 128
PosPrinterConst.PTR_BCS_PDF417	PDF417
PosPrinterConst.PTR_BCS_MAXICODE	MaxiCode(モード 2)
PosPrinterConst.PTR_BCS_GS1DATABAR	GS1DataBar Omnidirectional
PosPrinterConst.PTR_BCS_GS1DATABAR_S	GS1DataBar Stacked Omnidirectional
PosPrinterConst.PTR_BCS_GS1DATABAR_E	GS1DataBar Expanded
PosPrinterConst.PTR_BCS_GS1DATABAR_E_S	GS1DataBar Expanded Stacked
PosPrinterConst.PTR_BCS_QRCODE	QRCODE
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER(501)	MaxiCode(モード 3)
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER+1(502)	MaxiCode(モード 4、モード 5)
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER+2(503)	MaxiCode(モード 6)
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER+5(506)	GS1DataBar Truncated
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER+6(507)	GS1DataBar Stacked
PosPrinterConst.PTR_BCS_OTHER+8(509)	GS1DataBar Limited

alignment パラメーターの値は、以下の通りです。プリンタによっては対応していません。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。
RotateSpecial もしくは **rotatePrint** による 90 度回転時は PosPrinterConst.PTR_BC_LEFT を指定して下さい。

値	意味
PosPrinterConst.PTR_BC_LEFT	左寄せ（印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては右寄せとなります。）
PosPrinterConst.PTR_BC_CENTER	センタリング
PosPrinterConst.PTR_BC_RIGHT	右寄せ（印字データに対して実行するので、180 度回転印字時は、POS プリンタ印字方向に対しては左寄せとなります。）
その他	バーコード印刷を開始する左端からの距離。 MapMode で定義された単位で表記します。 <i>width</i> パラメーターで指定されたバーコード幅から算出する実際のバーコード印字幅+左端からの距離が RecLineWidth の値を超える場合、E_ILLEGAL が返ります。

textPosition パラメーターの値は、以下の通りです。プリンタによっては対応していません。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

値	意味
PosPrinterConst.PTR_BC_TEXT_NONE	テキストは印字しない。バーコードのみ印刷します。
PosPrinterConst.PTR_BC_TEXT_ABOVE	バーコードの上にテキストを印字します。
PosPrinterConst.PTR_BC_TEXT_BELOW	バーコードの下にテキストを印字します。

説明

指定した POS プリンタにバーコードを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。

バーコード印字可能条件を以下に示します。

種類	印字可能な キャラクター種別	文字列長	<i>width</i> (dots)
UPC-A	'0'～'9' の 10 種	11～12	95～864
UPC-E		11～12	51～864
EAN8 JAN8		7～8	67～864
EAN13 JAN13		12～13	95～864
Code 39	'0'～'9', 'A'～'Z', 空白, '\$', '%', '+', '-', ':', '/' の 43 種 (スタート・ストップキャラクター '*' は自動で付加されます。)	1～34	47～864
Interleaved 2 of 5	'0'～'9' の 10 種	2～62	27～864
Codabar	0'～'9', 'A'～'D', '\$', '+', '-', ':', '/', ' ' の 20 種	3～71	41～864

Code 128	Code Set A: 0x00 ~ 0x5F Code Set B 0x20 ~ 0x7F Code Set C 0x00 ~ 0x63 但し、“[“を含むキャラクターは除く。 詳細は後述。	3～51	46～864
PDF417	0x00 ~ 0xFF	1～410byte	158～864
MAXICODE (モード 2)	Primary Message 数字“0～9” Secondary Message 0x01 ~ 0xFF	18～85	228(サイズ 固定)
MAXICODE (モード 3)	Primary Message 郵便コード “0～9”, “A～Z”, 空 白, “ “#\$\$%&’()*+,-./ ” 国名コード サービスコード 数字(0～9) Secondary Message 0x01 ~ 0xFF	15～85	228(サイズ 固定)
MAXICODE (モード 4, モード 5)	0x01 ~ 0xFF	1～80	228(サイズ 固定)
MAXICODE (モード 6)	0x01 ~ 0xFF	1～80	228(サイズ 固定)
QRCODE	数字モード 数字“0～9” 英数字モード ‘0’～‘9’, ‘A’～‘Z’, 空白, ‘\$’, ‘%’, ‘*’, ‘+’, ‘-’, ‘:’, ‘/’, ‘.’ バイトモード 0x00 ~ 0xFF シフト JIS 漢字モード 第 1 バイト 0x81 ~ 0x9F, 0xE0 ~ 0xEA 第 2 バイト 0x40 ~ 0x7E, 0x80 ~ 0xFC	1～2048byte	21 ~

GS1DataBar (Omnidirectional)	‘0’-‘9’ の 10 種	13～14	～864
GS1DataBar (Truncated)			
GS1DataBar (Stacked)			
GS1DataBar (Stacked Omnidirectional)			
GS1DataBar (Limited)			
GS1DataBar (Expanded)	‘0’-‘9’, ‘A’-‘Z’, ‘a’-‘z’, 空白, ‘!’, ‘“’, ‘%’, ‘&’, ‘“’, ‘(’, ‘)’, ‘*’, ‘+’, ‘,’ , ‘-’, ‘.’, ‘/’, ‘:’, ‘;’, ‘<’, ‘=’, ‘>’, ‘?’, ‘_’, FNC1(0x1D)	1～77 (数字のみ時)	～864
GS1DataBar (Expanded Stacked)		※最大データ長は文字種類に変動。	

各バーコードのエンコーディングは下記のとおりです。

種類	エンコーディング
UPC-A	Ascii
UPC-E	
EAN8	
JAN8	
EAN13	
JAN13	
Code 39	
ITF	
Codabar	
Code 128	
PDF417	Windows 1252
MAXICODE	UTF-8
QRCODE	BinaryConversion が PosConst.BC_NONE の場合、directIO メソッドで指定したエンコーディングで QR コードをエンコードします。directIO メソッドの PTR_DIO_SET_QR_ENCODING を参照してください。 BinaryConversion が PosConst.BC_NONE 以外の場合、 BinaryConversion の値に合わせて <i>data</i> パラメーターを変換し、QRコードを印刷します。
GS1DataBar	UTF-8

バーコード印字注意点について

1. 最終的なバーコードの印字幅(dot)は、パラメーターを変更していき、バーコード印字可能条件を超えない範囲で *width* にもっとも近い値で印字を行います。
2. CODE39 を印字する場合、スタートキャラクター、ストップキャラクターの"*"は自動的に付加されますので、キャラクターに設定する必要はありません。
3. ITF を指定する場合、キャラクター数は偶数で指定する必要があります。奇数を指定した場合、PosException がスローされます。
4. CODABAR を指定する場合、キャラクターの先頭と末尾はかならず、"A"～"D"のいずれかである必要があります。よって、その間に任意のキャラクターを設定した合計 3 文字以上で指定する必要があります。これに従っていない場合は、PosException がスローされます。
5. UPC-E を指定する場合、展開は下記の表に基づいて行われます。UPC-A レフトコードは、先頭 2～6 キャラクター、UPC-A ライトコードは、先頭 7～11 キャラクター目を示し、短縮されるコードが実際に UPC-E として印字されます。UPC-A 先頭キャラクターが 0 以外か、下記の表に基づかないキャラクターが指定された場合、PosException がスローされます。

例 05810000226 → 58226 に変換されます。

09859363583 → E_ILLEGAL が返ります。

メーカーコード UPC-A のレフトコード					アイテムコード UPC-A のライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

6. CODE128 を印字する場合は以下のようにキャラクターを設定します。
 1. バーコードの先頭は、"{A", "{B", "{C" のいずれかを指定してください。以下をそれぞれ、CODE A, CODE B, CODE C に設定します。
 2. ファンクションコードを指定するには、"{1", "{2", "{3", "{4" を指定します。それぞれ、FNC1, FNC2, FNC3, FNC4 の指定となります。尚、CODE C では、FNC1 のみ有効です。CODE C で、FNC1 以外を指定すると PosException がスローされます。
 3. CODE B で、"{[" を印字するには、"{[" を指定してください。
 4. SHIFT を設定するには、"{S" を指定してください。以後の 1 キャラクターのコードセットが、CODE A ↔ CODE B のようにシフトします。CODE C で指定した場合、PosException がスローされます。

CODE A, CODE B, CODE C で印字可能なキャラクターを次に示します。

【Code128】

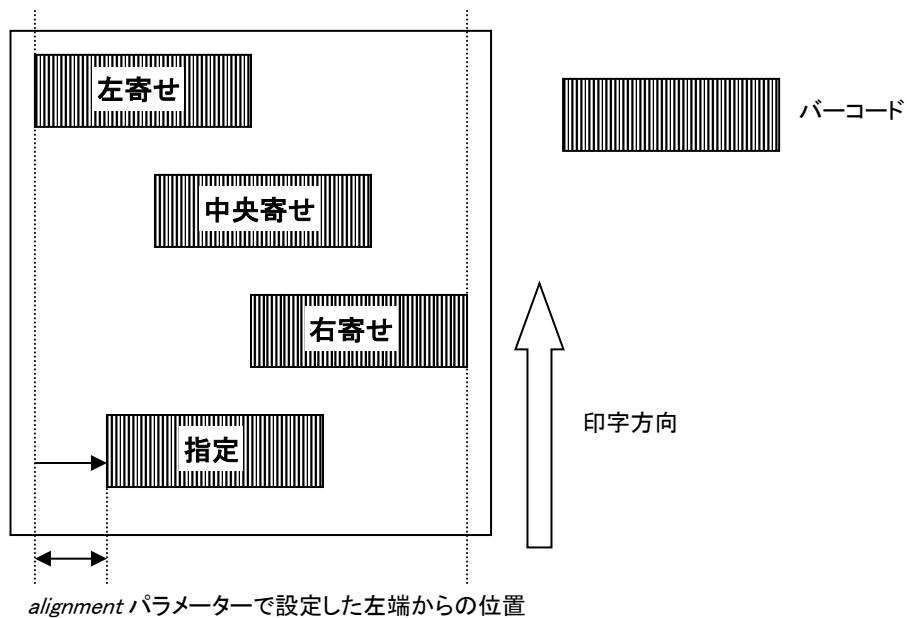
印字するキャラクター			印字するキャラクター		
CODE-A	CODE-B	CODE-C	CODE-A	CODE-B	CODE-C
SPACE	SPACE	00(00H)	U	U	53(35H)
!	!	01(01H)	V	V	54(36H)
“	“	02(02H)	W	W	55(37H)
#	#	03(03H)	X	X	56(38H)
\$	\$	04(04H)	Y	Y	57(39H)
%	%	05(05H)	Z	Z	58(3AH)
&	&	06(06H)	[[59(3BH)
‘	‘	07(07H)	/	/	60(3CH)
((08(08H)]]	61(3DH)
))	09(09H)	^	^	62(3EH)
*	*	10(0AH)	-	-	63(3FH)
+	+	11(0BH)	NULL(00H)	`	64(40H)
,	,	12(0CH)	SOH(01H)	a	65(41H)
-	-	13(0DH)	STX(02H)	b	66(42H)
.	.	14(0EH)	ETX(03H)	c	67(43H)
/	/	15(0FH)	EOT(04H)	d	68(44H)
0	0	16(10H)	ENG(05H)	e	69(45H)
1	1	17(11H)	ACK(06H)	f	70(46H)
2	2	18(12H)	BEL(07H)	g	71(47H)
3	3	19(13H)	BS(08H)	h	72(48H)
4	4	20(14H)	HT(09H)	i	73(49H)
5	5	21(15H)	LF(0AH)	j	74(4AH)
6	6	22(16H)	VT(0BH)	k	75(4BH)
7	7	23(17H)	FF(0CH)	l	76(4CH)
8	8	24(18H)	CR(0DH)	m	77(4DH)
9	9	25(19H)	SO(0EH)	n	78(4EH)
:	:	26(1AH)	SI(0FH)	o	79(4FH)
;	;	27(1BH)	DLE(10H)	p	80(50H)
<	<	28(1CH)	DC1(11H)	q	81(51H)
=	=	29(1DH)	DC2(12H)	r	82(52H)

>	>	30(1EH)	DC3(13H)	s	83(53H)
?	?	31(1FH)	DC4(14H)	t	84(54H)
@	@	32(20H)	NAK(15H)	u	85(55H)
A	A	33(21H)	SYN(16H)	v	86(56H)
B	B	34(22H)	ETB(17H)	w	87(57H)
C	C	35(23H)	CAN(18H)	x	88(58H)
D	D	36(24H)	EM(19H)	y	89(59H)
E	E	37(25H)	SUB(1AH)	z	90(5AH)
F	F	38(26H)	ESC(1BH)	{ “{”	91(5BH)
G	G	39(27H)	FS(1CH)		92(5CH)
H	H	40(28H)	GS(1DH)	}	93(5DH)
I	I	41(29H)	RS(1EH)	~	94(5EH)
J	J	42(2AH)	US(1FH)	DEL	95(5FH)
K	K	43(2BH)			96(60H)
L	L	44(2CH)			97(61H)
M	M	45(2DH)			98(62H)
N	N	46(2EH)			99(63H)
O	O	47(2FH)	以下は、”{“を指定して利用します。		
P	P	48(30H)	FNC 3 “{3”	FNC 3 “{3”	
Q	Q	49(31H)	FNC 2 “{2”	FNC 2 “{2”	
R	R	50(32H)	SHIFT “{S”	SHIFT “{S”	
S	S	51(33H)	CODE C “{C”	CODE C “{C”	
T	T	52(34H)	CODE B “{B”	CODE A “{A”	CODE B “{B”
			FNC 4 “{4”	FNC 4 “{4”	CODE A “{A”
			FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”	FNC 1 “{1”

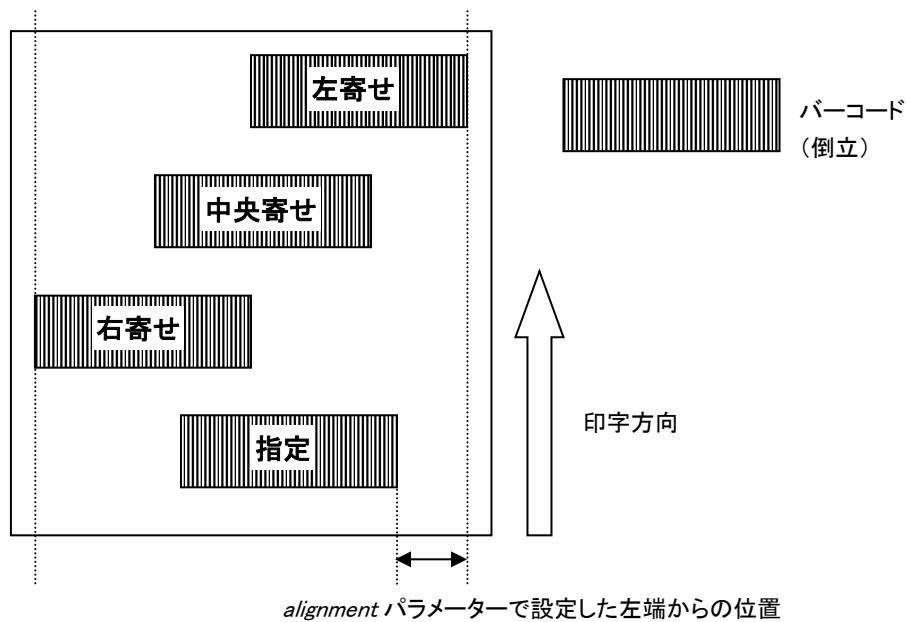
7. PDF417 はデータ長の増加に伴い、バーコードの段数が増加します。縦横のサイズを近似計算し、指定された *width* パラメーターに合わせて印字を行います。*height* パラメーターは使用されず、最大高さは 255 ドット固定です。データ長の増加に伴い、エラー訂正コードワードも増加するため、正確なデータ長を計算する事ができません。少し余裕を持って判断し、印字可能と判断した場合のみデータを印字します。印字不可と判断した場合は `PosException` がスローされます。
BinaryConversion が `PosConst.BC_NONE` の場合、UTF-8 で PDF417 をエンコードします。**BinaryConversion** が `PosConst.BC_NONE` 以外の場合、**BinaryConversion** の値に合わせ *data* パラメーターを変換し、PDF417 を印刷します。
8. MAXICODE はシンボルサイズ固定長のため、*width* パラメーター、*height* パラメーターの値に関係なく、一定の大きさで印字されます。*width* パラメーターが 0 以下のみ、もしくは *height* パラメーターが 0 以下または 255 ドットを超える場合のみ、`PosException` がスローされます。MAXICODE はエンコード後のデータ長が不明のため、データ長のチェックを正確に行えません。少し余裕を持って判断し、印字可能と判断した場合にデータを印字します。モード 2、モード 3 については Secondary Message が 70byte を超える場合に `PosException` がスローされます。モード 4～モード 6 については *data* が 80byte を超える場合に `PosException` がスローされます。
モード 4 とモード 5 の違いは、エラー訂正レベルの違いです。データ量が少ない場合(50byte 以下)は、エラー訂正レベルの高いモード 5 を利用します。
9. QR コードはサイズが縦横同じサイズであるため、*width* パラメーターで指定された値の近似値を印字します。*height* パラメーターは 0 以下の場合のみ `PosException` がスローされます。印字サイズは QR コードのデータ長とキャラクターモード、モジュールサイズ、誤り訂正レベルによって決定されます。
QR コードの印字サイズは、誤り訂正レベルは M、モジュールサイズは 1 モジュール 3×3 あるいは 4×4 ドットから *width* パラメーター値の近似値を算出して決定します。
10. GS1DataBar のサイズはやモジュールサイズは、*width* パラメーター値の近似値を算出して決定します。*height* パラメーターは無視されます。
GS1DataBar Expanded および Expanded Stacked で印刷可能なデータ長は、最大 77 文字(数字のみ)となります。但し、指定する文字の種類によって印刷可能なデータ長は変動します。
11. *textPosition* パラメーターの指定で HRI 文字(Human Readable Interpretation) の有無と位置の設定を行います。`PosPrinterConst.PTR_BC_TEXT_ABOVE` ではバーコードの上側に、`PosPrinterConst.PTR_BC_TEXT_BELLOW` ではバーコードの下側にバーコード幅に合わせてフォントサイズを変更して HRI 文字を印刷します。
2 次元コードの PDF417、MAXICODE、QR CODE、GS1DataBar では HRI 文字は印刷しません。
12. エスケープシーケンスの ESC |bC(ボールド)は、ESC|N(ノーマル)あるいは文字列先頭で解除します。そのため、ボールド指定のままバーコード印字を行うと HRI 文字もボールドとなります。

RotateSpecial もしくは rotatePrint を使用したバーコードの回転印字について

正立印字時の、*alignment* パラメーター指定による印字位置の変化



倒立印字時の、*alignment* パラメーター指定による印字位置の変化



例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	以下のエラーの一つが起きました。 <ul style="list-style-type: none">• <i>station</i> が存在しません。• <i>station</i> がバーコード印刷をサポートしていません。• <i>height</i> あるいは <i>width</i> が、0 あるいは大きすぎます。• サポートされていない <i>symbology</i> です。• <i>symbology</i> でサポートされていない文字があります。• <i>alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます (<i>alignment</i> を絶対位置指定した場合は、<i>alignment</i> の指定値と、バーコードの実際の印字幅 (<i>width</i> に一番近い値で計算した値) の合計値が、印字可能幅を超える場合)。• <i>textPosition</i> が、不正な値です。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
PosConst.E_BUSY	出力中なので実行できません。

printBitmap メソッド

形式

```
public void printBitmap (int station, Bitmap bitmap, int width, int alignment) throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>station</i>	PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定
<i>bitmap</i>	android.graphics.Bitmap クラスのインスタンス
<i>width</i>	ビットマップの印刷幅。下記の値を参照。
<i>alignment</i>	ビットマップの印刷位置。下記の値を参照。

width パラメーターの値は、以下の通りです。

値	意味
PosPrinterConst.PTR_BM_ASIS	POS プリンタのドット当たり 1 ビットマップピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅。MapMode で定義された単位で表記します。有効値は、1 ~ RecLineWidth の値までです。

alignment パラメーターの値は、以下の通りです。rotatePrint による 90 度回転時は PosPrinterConst.PTR_BM_LEFT を指定して下さい。

値	意味
PosPrinterConst.PTR_BM_LEFT	左寄せ
PosPrinterConst.PTR_BM_CENTER	センタリング
PosPrinterConst.PTR_BM_RIGHT	右寄せ
その他	ビットマップ印刷を開始する左端からの距離。MapMode で定義された単位で表記します。width との合計値が、width パラメーターの制限を超えてはいけません。

説明

指定されたプリンタにビットマップを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。読み込んだビットマップをモノクロームにして、印字します。

printBitmap は呼び出された時点でビットマップデータをプリンタに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。setBitmap とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。

width パラメーターはビットマップの変換をコントロールします。もし、width パラメーターが PosPrinterConst.PTR_BM_ASIS ならば変換は実行されません。ビットマップは POS プリンタドット当たり 1 ビットマップピクセルで印刷されます。もし width が 0 でなければ、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大・圧縮変換されます。

印刷可能なビットマップの最大高さは 5040 ドットです。左右 90 度回転時の最大幅及び高さは RecLineWidth プロパティの値です。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	以下のエラーの内、一つが起きました。 <ul style="list-style-type: none">• station が存在しません。• station がビットマップ印刷をサポートしていません。• width が大きすぎます。• alignment が、不正な値であるか、大きすぎます。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。

printNormal メソッド

形式

```
public void printNormal (int station, String data) throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>station</i>	PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定
<i>data</i>	印刷される文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス(U+000D)、キャリッジリターン、ニューライン/ラインフィード(U+000A) から成ります。

説明

レシートプリンタに *data* パラメーターを印刷する時にこのメソッドを呼び出します。最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。

data パラメーター内の特別なキャラクターの値は、以下の通りです。

値	意味
Newline/Line Feed(U+000A)	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。 (キャリッジリターンは、その行を印刷するためには必要ありません。)
Carriage Return(U+000D)	もし、キャリッジリターンがラインフィードのすぐ前にあれば、キャリッジリターンは無視されます。 キャリッジリターンはラインフィードのように振る舞います。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
PosConst.E_BUSY	出力中なので実行できません。

release メソッド

形式

public void release () throws PosException;

説明

デバイスの排他アクセスを解除するときにこのメソッドを呼び出します。

DeviceEnabled が **true** で排他デバイスならば、デバイスはディセーブルにされます。イベント処理中(イベントハンドラ内)では実行しないでください。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	アプリケーションは該当のデバイスへの排他アクセス権を持っていません。
PosConst.E_BUSY	非同期処理が実行中です。

removeDirectIOListener メソッド

形式

`public void removeDirectIOListener (DirectIOListener listener);`

パラメーター	説明
<i>listener</i>	DirectIOListener 型のリスナーインターフェース

説明

指定されたリスナーインターフェースを削除します。
listener が null の場合、何も行われません。

removeStatusUpdateListener メソッド

形式

```
public void removeStatusUpdateListener (StatusUpdateListener listener);
```

パラメーター

説明

listener

StatusUpdateListener 型のリスナーインターフェース

説明

指定されたリスナーインターフェースを削除します。

listener が `null` の場合、何も行われません。

rotatePrint メソッド

形式

public void rotatePrint (int station, int rotation) throws PosException;

パラメーター

説明

station PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定

rotation 回転方向。下記の値を参照。

rotation パラメーターの値は、以下の通りです。

値

意味

PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90

右に 90 度回転(時計回りに)印刷の開始。

PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90

左に 90 度回転(時計と反対回りに)印刷の開始。

PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180

180 度回転印刷、つまり、倒立印字の開始。

PosPrinterConst.PTR_RP_BARCODE

回転バーコード印刷の開始。この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。

PosPrinterConst.PTR_RP_BITMAP

回転ビットマップ印刷の開始。この値は上記の回転印刷開始の値の1つとの論理和。
printBitmap で印字されるビットマップを回転させます。**printNormal** 中に指定されたエスケープシーケンス(ビットマップ、スタンプ)は回転しません。

PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL

回転印刷の終了。

説明

もし、*rotation* が PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180 ならば、倒立印刷モードが開始されます。**rotatePrint** が *rotation* パラメーターを PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL に設定して呼ばれるまで、**printNormal** の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行はプリンタに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンタの右マージンに合わされます。**printNormal** の印刷メソッドが、倒立印刷モード中に使用されます。

もし、*rotation* パラメーターが PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90、PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 ならば、横書きモードが開始されます。**rotatePrint** が *rotation* パラメーターを PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL に設定して呼ばれるまで、**printNormal** の呼び出しによるデータはバッファリングされます。(この場合、上記のメソッドのデータはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。尚、この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切れていても、**rotatePrint** による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼び出し時にエラーを返しません。)

横書きモード時は **printNormal** の呼び出しによるバッファリング中の文字データを解析し、すべての行における幅の最大値にあわせて、横幅が決定されます。文字データ総数の幅が最大印字幅を超えた場合、はみ出したデータについては、ページ内に折り返して印字されます。最大印字幅はプリンタによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。また、文字データの横幅がエスケープシーケンスによって 2 倍以上になる場合も、倍率をかけた値で計算されます。

倒立印刷モードで **setBitmap** を行ったビットマップは、倒立して印字されます（通常印字モードであっても、倒立して印字されます）。

もし、*rotation* パラメーターが `PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL` ならば、回転印刷モードは終了します。もし、横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが **printNormal** によってバッファリングされていたならば、そのバッファリングされたデータは印刷されます。全体の回転した行のブロックは、一つのメッセージとして扱われます。

rotation パラメーターに `PosPrinterConst.PTR_RP_BARCODE`、あるいは `PosPrinterConst.PTR_RP_BITMAP` が含まれている場合には、(**printBarCode** で印刷される)バーコード、**printBitmap** で印字されるビットマップはすべて、**rotatePrint** で回転印刷できます。バーコード、ビットマップの回転印字は、`PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL` を指定することで解除されます。

transactionPrint 実行中の **rotatePrint** の呼び出しでは、文字列、バーコード、ビットマップの回転方向が異なると正しく印刷されません。**transactionPrint** と組み合わせて実行する場合は、`PosPrinterConst.PTR_RP_BARCODE` と `PosPrinterConst.PTR_RP_BITMAP` も同時にセットして下さい。

rotation パラメーターに `PosPrinterConst.PTR_RP_BARCODE` が含まれている場合、**RotateSpecial** の値は無視されます。

clearOutput を呼ぶことにより、回転印刷モードは中止されます。いかなるバッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

例外

`PosException` がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#) を参照してください。

ErrorCode	意味
<code>PosConst.E_ILLEGAL</code>	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。 または、 <i>station</i> が指定した回転をサポートしていません。 異なる回転モード中です。一旦、 <code>PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL</code> を指定するか、 clearOutput にて回転印字をクリアした後、再施行してください。
<code>PosConst.E_NOHARDWARE</code>	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。
<code>PosConst.E_BUSY</code>	出力中なので実行できません。

形式

```
public void setBitmap (int bitmapNumber, int station, Bitmap bitmap, int width, int alignment) throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>bitmapNumber</i>	このビットマップに割り当てられる番号。 有効な値は、1～255 までの値です。
<i>station</i>	PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定
<i>bitmap</i>	android.graphics.Bitmap クラスのインスタンス null が設定された場合、指定された <i>bitmapNumber</i> のビットマップを POS プリンタから消去します。
<i>width</i>	ビットマップの印刷幅。値は printBitmap 参照。
<i>alignment</i>	ビットマップの印刷位置。値は printBitmap 参照。

説明

ビットマップに関する情報を保存する時に呼び出します。

ビットマップは、印刷データ内にビットマップ印刷のエスケープシーケンスをもつ **printNormal** を呼ぶことによって印刷されます。

登録可能なビットマップは、横サイズ(*width*)が **RecLineWidth** dot 以下 (*alignment* が絶対位置指定の場合、*width*+*alignment* ≤ **RecLineWidth**)、且つ縦サイズが範囲内のもののみです。この条件に適合しない場合、PosPrinterConst.EPTR_TOOBIG となる例外がスローされます。登録可能な縦サイズはプリンタによって異なります。[プリンタ仕様](#)を参照して下さい。

本メソッドを実行すると、ビットマップを POS プリンタの不揮発メモリ上に書き込む為、**release** を行った後でも、セットしたビットマップ自体は有効となります。つまり、1 度設定を行えば、エスケープシーケンスによるビットマップの印字が有効となります。

本メソッドを実行時、ステータス(ニアエンドなど)が一時的に解除され、**StatusUpdateEvent** もしくは **DirectIOEvent** により通知される場合があります。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>bitmapNumber</i> が不正な値です。 • POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。 • <i>station</i> がビットマップ印刷をサポートしていません。 • <i>width</i> が大きすぎます。 • <i>alignment</i> が、不正な値であるか、大きすぎます。
PosConst.E_BUSY	デバイスが出力中のため、実行できません。
PosConst.E_EXTENDED	ErrorCodeExtended = PosPrinterConst.EPTR_TOOBIG: ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは変換するには大きすぎます。

setLogo メソッド

形式

```
public void setLogo (int location, String data) throws PosException;
```

パラメーター

説明

location

設定するロゴ。PosPrinterConst.PTR_L_TOP あるいは PosPrinterConst.PTR_L_BOTTOM です。

data

ロゴを作る文字。プリント可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン (U+000D)、ニューライン/ラインフィード(U+000A)から成ります。

ロゴエスケープシーケンスは使用できません。

説明

データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存する時に呼び出します。

プリントデータ内に、上端ロゴあるいは下端ロゴのエスケープシーケンスを含んだ **printNormal**,を呼ぶことによって、ロゴは印刷されます。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode

意味

PosConst.E_BUSY

出力中なので実行できません。

PosConst.E_ILLEGAL

不正な *location* が指定されました。

形式

```
public void transactionPrint(int station, int control) throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>station</i>	PosPrinterConst.PTR_S_RECEIPT を指定
<i>control</i>	一括処理。下記の値を参照。 <i>control</i> の値は、以下の通りです。
値	意味
PosPrinterConst.PTR_TP_TRANSACTION	一括処理の開始。 PosPrinterConst.PTR_TP_NORMAL/バッファデータを印字して一括処理を終了する。

説明

一括処理モードに入る時または抜ける時にこのメソッドを呼び出します。

control パラメーターが PosPrinterConst.PTR_TP_TRANSACTION ならば、一括処理モードに入ります。その後の **printNormal**、**cutPaper**、**markFeed**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap** への呼び出しは、*control* パラメーターに PosPrinterConst.PTR_TP_NORMAL をセットして **transactionPrint** が呼び出されるまで、印刷データをバッファリングします。(この場合、前記のメソッドの印刷データはバッファリングされるだけで、印刷は開始しません。この場合、POS プリンタのエラー状態に関わらず、各メソッドは成功します。例えば、POS プリンタの電源が切れていても、**transactionPrint** による印刷データのバッファリング中は、各メソッドの呼び出し時にエラーを返しません。)

control パラメーターが PosPrinterConst.PTR_TP_NORMAL ならば、一括処理モードを抜けます。**printNormal**、**cutPaper**、**rotatePrint**、**printBarCode**、**printBitmap**、**markFeed** メソッドによりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は一つのメッセージとして処理されます。

clearOutput メソッドを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

注意点として、**rotatePrint** を実行した場合があります。**transactionPrint** を実行し、一括処理モードを抜けるまで、**rotatePrint** を回転指定で呼び出し、**printNormal** 呼び出し、**rotatePrint** を PosPrinterConst.PTR_TP_NORMAL で呼び出しによる印字はされません。また、**rotatePrint** を回転指定で呼び出し、**transactionPrint** を PosPrinterConst.PTR_TP_TRANSACTION で呼び出した場合、**transactionPrint** によるバッファリングの方が優先度が高い為、この間にバッファリングされたデータは、回転印字されず、正しく印字することができません。よって、**rotatePrint** を実行する場合は、**transactionPrint** の後に実行してください。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	指定した POS プリンタ(レシート以外)が存在しません。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタはオフ、またはオフラインです。

3. 4. 5. イベント

本 SDK ではイベントを経由してアプリケーションに通知を行います。

DirectIOEvent イベント

形式

インターフェース

```
public interface DirectIOListener extends java.util.EventListener
```

メソッド

```
void directIOOccurred (DirectIOEvent e);
```

このイベントでは *e* の次のプロパティを使用します。

プロパティ	説明
<i>EventNumber</i>	イベント番号。
<i>Data</i>	補助数値データ。
<i>Object</i>	補助データ。

EventNumber の値は、以下の通りです。

値	意味
PTR_DIE_PRESENTER_ERROR	プレゼンターエラーです。
PTR_DIE_PRESENTER_OK	プレゼンターエラーから復帰しました。
PTR_DIE_LOW_BATTERY	ローバッテリーです。
PTR_DIE_BATTERY_OK	ローバッテリーから復帰しました。

説明

FTP-POS 独自のイベントを通知します。

PTR_DIE_PTR_PRESENTER_ERROR

プロパティ	説明
<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_PRESENTER_ERROR
<i>Data</i>	使用しません。
<i>Object</i>	使用しません。

説明

プレゼンターエラー発生時に通知します。

PTR_DIE_PRESENTER_OK

プロパティ	説明
<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_PRESENTER_OK
<i>Data</i>	使用しません。
<i>Object</i>	使用しません。

説明

プレゼンターエラーから復帰時に通知します。

PTR_DIE_LOW_BATTERY

プロパティ	説明
<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_LOW_BATTERY
<i>Data</i>	使用しません。
<i>Object</i>	使用しません。

説明

ローバッテリー発生時に通知します。

PTR_DIE_BATTERY_OK

プロパティ	説明
<i>EventNumber</i>	PTR_DIE_BATTERY_OK
<i>Data</i>	使用しません。
<i>Object</i>	使用しません。

説明

ローバッテリーから復帰時に通知します。

StatusUpdateEvent イベント

形式

インターフェース

```
public interface StatusUpdateListener extends java.util.EventListener
```

メソッド

```
statusUpdateOccurred (StatusUpdateEvent e);
```

このイベントでは *e* の次のプロパティを使用します。

プロパティ

説明

プロパティ	説明
<i>Status</i>	状態変化の種類。下記の値を参照してください。

Status は、次に示す値のいずれかに設定されます。

値

意味

PosPrinterConst.PTR_SUE_COVER_OPEN	POS プリンタカバーが開いています。
PosPrinterConst.PTR_SUE_COVER_OK	POS プリンタカバーが閉じています。
PosPrinterConst.PTR_SUE_REC_EMPTY	レシート用紙がありません。
PosPrinterConst.PTR_SUE_REC_NEAREMPTY	レシート用紙がニアエンドです。
PosPrinterConst.PTR_SUE_REC_PAPEROK	レシート用紙が用意できました。
PosConst.SUE_POWER_ONLINE	デバイスは電源オンでかつレディ状態です。 (PowerNotify = PosPrinterConst.PN_ENABLED の場合に通知)
PosConst.SUE_POWER_OFF_OFFLINE	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。 (PowerNotify = PosPrinterConst.PN_ENABLED の場合に通知)

説明

プリンタデバイス側に重要な状態の変化が起こった時に通知されます。

デバイスがイネーブルとなったとき、アプリケーションにデバイスの状態を知らせるために、コントロールは最初の **StatusUpdateEvent** を発行します。

3. 5. PrinterConfiguration クラス

public final class PrinterConfiguration extends Object

接続するプリンタの設定を行うクラスです。

3. 5. 1. コンストラクター

形式

```
public PrinterConfiguration(PrinterModel model, ConnectionType connection,  
    String deviceName, PrintingWidth width, PrintingResolution resolution,  
    PrintingQuality quality)  
    throws PosException;
```

パラメーター	説明
<i>model</i>	接続するモデルを指定します。
<i>connection</i>	接続タイプを指定します
<i>deviceName</i>	接続するデバイス名を指定します。下記を参照して下さい。
<i>width</i>	印字幅を指定します。
<i>resolution</i>	解像度を指定します。
<i>quality</i>	印字品質を指定します。

説明

PrinterConfiguration クラスのインスタンスを生成します。

deviceName は下記のように指定して下さい。

<i>connection</i>	<i>deviceName</i>
ConnectionType.Usb	android.hardware.usb.UsbDevice#getDeviceName の値
ConnectionType.BluetoothClassic	android.bluetooth.BluetoothDevice#getAddress の値

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

ErrorCode	意味
PosConst.E_ILLEGAL	パラメーターに異常があります。

3. 6. PrintingQuality クラス

public final class PrintingQuality extends Object

印字品質の設定を行います。

3. 6. 1. 静的メソッド

createWithEnergy メソッド

形式

public static PrintingQuality createWithEnergy(int *paperType*, int *energy*) throw PosException

パラメーター	説明
<i>paperType</i>	印字品質の設定をします。 指定可能なタイプはプリンタによって異なります。 プリンタ仕様 を参照して下さい。
<i>energy</i>	基準エネルギーの調整をします。 デフォルトの場合、PrintingQuality.DEFAULT_ENERGY を指定して下さい。 調整を行う場合、各プリンタのコマンド仕様書もしくは製品仕様書の GS E コマンドを参照して下さい。

説明

PrintingQuality クラスのインスタンスを生成します。

例外

PosException がスローされる場合があります。詳細は [PosException クラス](#)を参照してください。

値	意味
PosPrinter.E_ILLEGAL	不正なパラメーターが指定されました。

3. 7. ConnectionType 列挙型

public enum ConnectionType

選択可能な接続方法の列挙型です。

値	意味
Usb	USB
BluetoothClassic	Bluetooth Classic

3. 8. PrintingResolution 列挙型

public enum PrintingResolution

選択可能な解像度の列挙型です。

値	意味
Resolution203	203dpi
Resolution300	300dpi

3. 9. PrintingWidth 列挙型

public enum PrintingWidth

選択可能な印字幅の列挙型です。

値	意味
Width384Dots	384 ドット
Width432Dots	432 ドット
Width576Dots	576 ドット
Width640Dots	640 ドット
Width832Dots	832 ドット
Width960Dots	960 ドット
Width1152Dots	1152 ドット
Width1696Dots	1696 ドット

3. 10. PrinterModel 列挙型

public enum PrinterModel

選択可能なプリンタモデルの列挙型です。

値	意味
Ftp_62gDsl000	FTP-62GDSL000 シリーズ
Ftp_62hDsl100	FTP-62HDSL100 シリーズ
Ftp_629Dsl350	FTP-629DSL350 シリーズ
	本値は互換性のために残されています。
	本値を使用せず、Ftp_639Usl100 もしくは Ftp_639Usl200 を選択して下さい。
Ftp_629Dsl310	FTP-629DSL310 シリーズ
Ftp_639Usl100	FTP-639USL100 シリーズ
Ftp_639Usl200	FTP-639USL200 シリーズ
Ftp_62eDsl200	FTP-62EDSL200 シリーズ
Ftp_627Dsl440	FTP-627DSL440 シリーズ
Ftp_63gDsl483	FTP-63GDSL483 シリーズ
Ftp_62hWsl001	FTP-62HWSL001 シリーズ

3. 11. PosException クラス

public final class PosException extends java.lang.Exception

本 SDK 内で例外が発生した場合にスローされます。

3. 11. 1. プロパティ

ErrorCode プロパティ

形式

int ErrorCode;

説明

エラーコードを取得します。

値	意味
PosConst.E_CLOSED	クローズされているデバイスにアクセスしようとした。
PosConst.E_NOTCLAIMED	メソッドまたはプロパティ設定処理を使用する前に、排他アクセス権の獲得をしなければならぬ排他使用デバイスにアクセスしようとした。
PosConst.E_DISABLED	デバイスをディセーブルしているときには動作を実行できません。
PosConst.E_ILLEGAL	デバイスに無効な動作か、サポートされていない動作を実行しようとしたか、無効なパラメーター値を使用しました。
PosConst.E_NOHARDWARE	POS プリンタがオフ、またはオフラインです。
PosConst.E_FAILURE	デバイスがシステムに接続され、電源が入っていて、オンラインですが、リクエストされた処理をデバイスが実行できません。
PosConst.E_TIMEOUT	デバイスからの応答がタイムアウトしました。
PosConst.E_BUSY	この要求を受け付けられません。例えば、非同期出力が実行中の場合、いくつかのメソッドは受け付けられません。
PosConst.E_EXTENDED	固有エラー状態が発生しました。

ErrorCodeExtended プロパティ

形式

int ErrorCodeExtended;

説明

詳細エラーコードを取得します。

ErrorCode が PosConst.E_EXTENDED の場合、このプロパティにデバイスのエラー情報値が設定されます。

値	意味
PosPrinterConst.EPTR_COVER_OPEN	プリンタカバーが開いている状態です。エラーを復旧するには、カバーを閉じてください。このとき、ディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
PosPrinterConst.EPTR_REC_EMPTY	レシート切れが発生しました。エラーを復旧するには、レシート紙を給紙してください。このときディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
PosPrinterConst.EPTR_TOOBIG	ビットマップが、変換無しで印刷するにはその幅が広すぎるか、あるいは変換するには大きすぎます。
FtpConst.EPTR_POWERSUPPLY	プリンタ電源電圧異常が発生しました。回復方法がないため、 close してください。
FtpConst.EPTR_CUTTER	カッター異常が発生しました。硬い物が挿入されて正常にカットできない可能性がありますので、原因を取り除けば復帰可能です。このときディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
FtpConst.EPTR_HARDWARE	ハードウェア異常が発生しました。回復方法がないため、 close してください。
FtpConst.EPTR_HEADHOT	ヘッド温度異常が発生しました。ヘッド温度が下がれば、復帰可能です。このときディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
FtpConst.EPTR_MARK	マーク未検出エラーが発生しました。 markFeed メソッドの結果として通知されます。用紙ジャムの可能性が考えられます。原因を取り除けば復帰可能です。このとき、ディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
FtpConst.EPTR_PRESENTER	プレゼンターエラーが発生しました。用紙ジャムなどプレゼンターが用紙搬送できない可能性が考えられます。原因を取り除けば復帰可能です。このときディセーブル、 release 、 close する必要はありません。
FtpConst.EPTR_NEEDCONTEXT	アプリケーションコンテキストが必要です。

3. 12. DirectIOListener インターフェース

public interface DirectIOListener extends java.util.EventListener

DirectIOEvent イベントを受け取るためのリスナーインターフェースです。

3. 12. 1. メソッド

directIOOccurred メソッド

形式

void directIOOccurred (DirectIOEvent e);

説明

メソッドの詳細は [DirectIOEvent イベント](#) を参照してください。

3. 13. StatusUpdateListener インターフェース

public interface StatusUpdateListener extends java.util.EventListener

StatusUpdateEvent イベントを受け取るためのリスナーインターフェースです。

3. 13. 1. メソッド

statusUpdateOccurred メソッド

形式

void statusUpdateOccurred (StatusUpdateEvent e);

説明

メソッドの詳細は [StatusUpdateEvent イベント](#) を参照してください。

3. 14. DirectIOEvent クラス

`public class DirectIOEvent extends PosEvent`

プリンタ固有のステータスなどを通知するイベント用のクラスです。

3. 14. 1. プロパティ

各プロパティの詳細は [DirectIOEvent イベント](#) を参照してください。

3. 15. PosEvent クラス

public abstract class PosEvent extends java.util.EventObject

本 SDK で扱うイベントクラスの抽象クラスです。

3. 15. 1. プロパティ

SequenceNumber プロパティ

形式

long SequenceNumber;

説明

本 SDK のイベントのグローバルなシーケンス番号。
イベントが発生するたびにインクリメントされます。

When プロパティ

形式

long When;

説明

イベントのタイムスタンプ。
System.currentTimeMillis() の値がセットされます。

3. 16. StatusUpdateEvent クラス

```
public class StatusUpdateEvent extends PosEvent
```

デバイスのステータス変化時に発生するイベントです。

3. 16. 1. プロパティ

各プロパティの詳細は [StatusUpdateEvent イベント](#) を参照してください。

4. プリンタ仕様

使用可能な機能はプリンタモデルによって異なります。本項目および、プリンタ製品仕様書、コマンド仕様書を参照して下さい。

4. 1. FTP-627DSL440

4. 1. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット

4. 1. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 1. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP60KS-F1 TP50KJ-R
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 1. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	

CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

4. 1. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
rotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	1920 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	
printBitmap メソッドで印刷可能な最大高さ	1023 ドット	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 576 ドット:576 印字幅 432 ドット:432	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
ファームウェアのアップデートおよびバージョン比較	非対応	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

4. 1. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
576 ドット	48	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	72	16	240(全角 120)	8×16 ドット
432 ドット	36	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	54	16	240(全角 120)	8×16 ドット

4. 1. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。
各コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。
- ・プリンタモデルによってはカッターがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で GS (E pL pH fn a b8～b1 (fn=3)を送信して下さい。
コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 2. FTP-62GDSL000

FTP-62GDSL100、FTP-62GDSL110、FTP-62GDSL120、FTP-62GUSL000、FTP-62GUSL070、FTP-62GUSL100、FTP-63GUSL000、FTP-63GUSL070、FTP-64GDSL130 も同様の仕様です。

4. 2. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット
832 ドット

4. 2. 2. 解像度

解像度
203 dpi

4. 2. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP60KS-F1 TP50KJ-R
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 2. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
MaxiCode		
PDF417	✓	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
GS1 Databar	✓	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。

4. 2. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。 FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
右寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。 FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
バーコードの HRI 文字	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
rotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	印字幅 832 ドット:1320 ドット 印字幅 576 ドット:1702 ドット 印字幅 432 ドット:1702 ドット	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。
レシートの左 90 度回転	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
レシートの右 90 度回転	対応	FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	

RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90、 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 は FW バージョンにより対応が異なります。 *1 を参照して下さい。 拡張揮発性メモリ非搭載の場合、 PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90、 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 に は非対応です。
printBitmap メソッド	対応	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 832 ドット:832 印字幅 576 ドット:576 印字幅 432 ドット:432	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大 値	864 ドット	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知 される状態	電源オフ、切断時もしくはプリンタエラー時	

*1) 対応 FW バージョンは下記の通りです。

プリンタモデル	対応する FW バージョン
FTP-62GDSL000 FTP-62GDSL100 FTP-62GDSL120 FTP-62GUSL000 FTP-62GUSL070 FTP-62GUSL100 FTP-63GUSL000 FTP-63GUSL070	V1.01 以上
FTP-62GDSL110 FTP-64GDSL130	V1.00 以上

4. 2. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
832 ドット	69	24	110(全角 55)	12×24 ドット
	104	16	165(全角 82)	8×16 ドット
576 ドット	48	24	141(全角 70)	12×24 ドット
	72	16	212(全角 106)	8×16 ドット
432 ドット	36	24	141(全角 70)	12×24 ドット
	54	16	212(全角 106)	8×16 ドット

4. 2. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドを送信して下さい。
FS 9 コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 3. FTP-63GDSL483

・FTP-83GDSL483 も同じ仕様です。

4. 3. 1. 印字幅

印字幅
FTP-63GDSL483:640ドット
FTP-83GDSL483:960ドット

4. 3. 2. 解像度

解像度
FTP-63GDSL483:203dpi
FTP-83GDSL483:300dpi

4. 3. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	設定禁止
4	PD150R PD450-145
5	設定禁止
6	設定禁止
7	設定禁止
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 3. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

4.3.5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	
中央寄せ	対応	
右寄せ	対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
RotatePrint メソッドの左右 90 度回転時の最大印字幅	FTP-63G:1728 ドット FTP-83G:1152 ドット	
レシートの左 90 度回転	対応	
レシートの右 90 度回転	対応	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	
printBitmap メソッド	対応	左右 90 度回転時の最大高さは RecLineWidth プロパティの値です。
SetBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 960 ドット:960 印字幅 640 ドット:640	
左右 90 度回転時に PrintBarcode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
PowerState プロパティで OPOS_PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	USB-COM: 電源オフもしくは切断時 RS-232C: 電源オフ、切断時、もしくはプリンタエラー時	

4. 3. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
960 ドット	80	24	96 (全角 48)	12 × 24 ドット
	120	16	144 (全角 72)	8 × 16 ドット
640 ドット	53	24	144 (全角 72)	12 × 24 ドット
	80	16	216 (全角 108)	8 × 16 ドット

4. 3. 7. 備考

- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの OPOS_FCL_PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドもしくは GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。
各コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。
- ・プリンタモデルによってはカッターがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で GS (E pL pH fn a b8~b1 (fn=3)を送信して下さい。
コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 4. FTP-629DSL310

4. 4. 1. 印字幅

印字幅
432 ドット
576 ドット
640 ドット

4. 4. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 4. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R PD170R
5	TP50KJ-R TP60KS-F1
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 4. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode		
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

4. 4. 5. 機能

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。
右寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	対応	
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	印字幅 640 ドット:1728 ドット 印字幅 576 ドット:1920 ドット 印字幅 432 ドット:2560 ドット	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	
printBitmap メソッド	対応	
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 640 ドット:640 印字幅 576 ドット:576 印字幅 432 ドット:432	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	電源オフ、切断時もしくはプリンタエラー時	

4. 4. 6. フォント

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが `FtpPosConst.PTR_MM_DOTS` の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
640 ドット	53	24	144(全角 72)	12×24 ドット
	80	16	216(全角 108)	8×16 ドット
576 ドット	48	24	160(全角 80)	12×24 ドット
	72	16	240(全角 120)	8×16 ドット
432 ドット	36	24	213(全角 106)	12×24 ドット
	54	16	320(全角 160)	8×16 ドット

4. 4. 7. 備考

- ・電源オフや通信切断からの復帰時に自動再接続は行いません。**close** メソッドおよび **open** メソッドにより再接続して下さい。
- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 **directIO** メソッドの `PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA` で FS 9 コマンドを送信して下さい。
FS 9 コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 5. FTP-629DSL350

・FTP-639USL100、FTP-639USL200 も同様の仕様です。

4. 5. 1. 印字幅

印字幅
576ドット

4. 5. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 5. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E4
4	PD150R PD160R-N PD170R
5	TP60KS-F1
6	TF60KS-E P220VBB-1
7	HA220AA
8	設定禁止
9	AFP-235
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 5. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	拡張不揮発性メモリおよび拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
MaxiCode		

PDF417	✓	拡張不揮発性メモリおよび拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
GS1 Databar		

4. 5. 5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	フルカット パーシャルカット	FTP-639USL200 ではパーシャル カットを行わないで下さい。
フィードと用紙カット	フルカット パーシャルカット	FTP-639USL200 ではパーシャル カットを行わないで下さい。
エスケープシーケンスによ るビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルの み対応。
中央寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場 合、改行されて次の行から有効に なります。 プリンタファームウェアが V1.05 以 上のみ対応。
右寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場 合、改行されて次の行から有効に なります。 プリンタファームウェアが V1.05 以 上のみ対応。
バーコードの HRI 文字	非対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なりま す。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	非対応	
レシートの左右 90 度回転 時の最大印字幅	非対応	
レシートの 180 度回転	対応	printBitmap メソッドによるビットマ ップ印刷には非対応です。
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConstPTR_RP_NORMAL PosPrinterConstPTR_RP_ROTATE180	
printBitmap メソッド	対応	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ 対応。
setBitmap メソッドで登録 可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 576 ドット:576	
左 右 90 度 回 転 時 に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大 値	非対応	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知	電源オフ、切断時もしくはプリンタ エラー時	

される状態		
-------	--	--

- *1) プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドを送信して下さい。
FS 9 コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 5. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
576 ドット	48	24	0	12 × 24 ドット
	72	16	0	8 × 16 ドット

4. 5. 7. FTP-639USL200 をご使用になる場合

- ・プレゼンターで保持可能なレシート長に制限があります。1 ページのレシート長が 50mm 以上 250mm 以下となるようにレシート内容を調節して用紙カットして下さい。
- ・パーシャルカットを行わないで下さい。
- ・用紙カット後は自動でレシートを排出します。
- ・イネーブル後もしくは用紙カット後、下記のメソッド実行時にプレゼンターに用紙がある場合、レシートを放出します。

cutPaper メソッド

markFeed メソッド

printBarCode メソッド

printBitmap メソッド

printNormal メソッド

setBitmap メソッド

- ・ printNormal メソッドもしくは setLogo メソッドで下記のエスケープシーケンスを使用する場合、Data の終端でのみ使用して下さい。

用紙カットエスケープシーケンス

フィードと用紙カットエスケープシーケンス

- ・ transactionPrint メソッドを使用する場合、下記の機能は一括処理の最後にバッファリングして下さい。

cutPaper メソッド

用紙カットエスケープシーケンス

フィードと用紙カットエスケープシーケンス

4. 5. 8. 備考

- ・ プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 directIO メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドを送信して下さい。
FS 9 コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 6. FTP-639USL100

[FTP-629DSL350](#)を参照して下さい。

4. 7. FTP-629USL200

[FTP-629DSL350](#)を参照して下さい。

4. 8. FTP-62HDSL100

4. 8. 1. 印字幅

印字幅
384 ドット
576 ドット
832 ドット

4. 8. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 8. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R
5	PD160R TP50KJ-R
6	設定禁止
7	HA220AA
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 8. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode	✓	
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

4. 8. 5. 機能

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボード	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	対応	
フィードと用紙カット	対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	拡張不揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
中央寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。
右寄せ	対応	行の途中で実行、解除を行う場合、改行されて次の行から有効になります。
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	対応	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	1144 ドット	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	拡張揮発性メモリ非搭載の場合、PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90、PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 には非対応です。
printBitmap メソッド	対応	拡張揮発性メモリ搭載モデルのみ対応。
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 832 ドット:832 印字幅 576 ドット:576 印字幅 384 ドット:384	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	電源オフ、切断時もしくはプリンタエラー時	

4. 8. 6. フォント

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
832 ドット	69	24	95(全角 47)	12×24 ドット
	104	16	143(全角 71)	8×16 ドット
576 ドット	48	24	95(全角 47)	12×24 ドット
	72	16	143(全角 71)	8×16 ドット
384 ドット	32	24	95(全角 47)	12×24 ドット
	48	16	143(全角 71)	8×16 ドット

4. 8. 7. 備考

- ・電源オフや通信切断からの復帰時に自動再接続は行いません。**close** メソッドおよび **open** メソッドにより再接続して下さい。
- ・プリンタモデルによってはニアエンドセンサーがデフォルトで無効になっています。有効にする場合 **directIO** メソッドの PTR_DIO_SEND_BINARY_DATA で FS 9 コマンドを送信して下さい。
FS 9 コマンドの詳細はプリンタの製品仕様書もしくはコマンド仕様書をご参照下さい。

4. 9. FTP-62HWSL001

4. 9. 1. 印字幅

印字幅
384ドット

4. 9. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 9. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	設定禁止
4	PD150R
5	TP50KJ-R
6	設定禁止
7	設定禁止
8	HW54S
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 9. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A	✓	
UPC-E	✓	
JAN(EAN)13	✓	
JAN(EAN)8	✓	
CODE39	✓	
ITF	✓	
CODABAR	✓	
CODE128	✓	
QR Code	✓	
MaxiCode	✓	
PDF417	✓	
GS1 Databar	✓	

4.9.5. 機能

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボールド	対応	プリンタファームウェアが V1.01 以上のみ対応。
反転文字	対応	
横倍率	1～8	0.5 単位には対応していません。
縦倍率	1～8	0.5 単位には対応していません。
アンダーライン	1～2	
用紙カット	非対応	
フィードと用紙カット	非対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	対応	
中央寄せ	非対応	
右寄せ	非対応	
バーコードの HRI 文字	対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	対応	
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	1920 ドット	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	非対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_RIGHT90 PosPrinterConst.PTR_RP_LEFT90 PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	512 ドット	
RecLineWidth プロパティ	384	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	864 ドット	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	電源オフ、切断時もしくはプリンタエラー時	

4. 9. 6. フォント

(※プロパティの値は、MapMode プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
384ドット	32	24	160(全角 80)	12×24ドット
	48	16	240(全角 120)	8×16ドット

4. 9. 7. 備考

- ・ **claim** メソッド実行時、*timeout* パラメーターとは別に最大約 3000 ミリ秒の接続待機時間がかかります。
- ・ 電源オフや通信切断からの復帰時に自動再接続は行いません。close メソッドおよび open メソッドにより再接続して下さい。
- ・ マーク未検出エラーが発生した場合、用紙ジャムの原因を取り除く、もしくはカバークローズすることで復帰します。
- ・ checkHealth メソッドで *level* パラメーターに CH_INTERNAL を指定した場合、接続状態および電源状態に関わらず、CheckHealthText プロパティに“Internal HCheck: Successful”を設定します。

4. 10. FTP-62EDSL200

4. 10. 1. 印字幅

印字幅
1152 ドット
1696 ドット

4. 10. 2. 解像度

解像度
203dpi

4. 10. 3. 用紙タイプ

タイプ	用紙種類
1	設定禁止
2	設定禁止
3	TF50KS-E45
4	PD150R PD160R
5	設定禁止
6	設定禁止
7	設定禁止
8	設定禁止
9	設定禁止
10	設定禁止
11	設定禁止
12	設定禁止

4. 10. 4. 印刷可能なバーコード、2D コード

バーコード、2D コード	対応	備考
UPC-A		
UPC-E		
JAN(EAN)13		
JAN(EAN)8		
CODE39		
ITF		
CODABAR		
CODE128		
QR Code		
MaxiCode		
PDF417		
GS1 Databar		

4. 10. 5. 機能

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが PosPrinterConst.PTR_MM_DOTS の場合)

機能	対応範囲	備考
ボールド	非対応	
反転文字	対応	
横倍率	1～4	
縦倍率	1～4	
アンダーライン	1～2	
用紙カット	非対応	
フィードと用紙カット	非対応	
エスケープシーケンスによるビットマップ印刷	非対応	
中央寄せ	非対応	
右寄せ	非対応	
バーコードの HRI 文字	非対応	
印刷可能な文字		プリンタモデルによって異なります。
‘€’ の印刷	対応	
レシートの左右 90 度回転	非対応	
レシートの左右 90 度回転時の最大印字幅	－	
レシートの 180 度回転	対応	
ニアエンドセンサー	対応	
RotateSpecial プロパティ	PosPrinterConst.PTR_RP_NORMAL PosPrinterConst.PTR_RP_ROTATE180	
printBitmap メソッド	対応	
setBitmap メソッドで登録可能な高さ	－	
RecLineWidth プロパティ	印字幅 1152 ドット:1152 印字幅 1696 ドット:1696	
左右 90 度回転時に printBarCode メソッドで width に設定可能な最大値	－	
PowerState プロパティで PS_OFF_OFFLINE が通知される状態	電源オフ、切断時もしくはプリンタエラー時	

4. 10. 6. フォント

(※プロパティの値は、**MapMode** プロパティが FtpPosConst.PTR_MM_DOTS の場合)

印字幅	RecLineChars プロパティ	RecLineHeight プロパティ	RecSidewaysMaxChars プロパティ	フォント
1696 ドット	96	24	–	12×24 ドット
	144	16	–	8×16 ドット
1152 ドット	96	24	–	12×24 ドット
	144	16	–	8×16 ドット

5. 修正履歴

文書名	A1NC40416-6000R0	
版数	変更日	変更箇所／変更理由／変更内容
1	-	初版制定
2	20240222	社名変更
		FTP-629DSL310, FTP-639USL100、FTP-639USL200、FTP-62ECU200 FTP-627DSL440、FTP-63GDSL483、FTP-62HWSL001 に対応
		printBitmap メソッドの最大高さを 5040 ドットに拡張
		タイ文字に対応
		directIO メソッドに機能追加

6. ドライバ変更履歴

バージョン	変更内容	作成日	圧縮ファイル名
V0.01	α 版	20200422	FTP2166000R0_FTP-POS_Android_V001.zip
V0.02	β 版	20200818	FTP2166000R0_FTP-POS_Android_V002.zip
	全面見直し		
	DeviceConfiguration クラスを PrinterConfiguration クラスに名前変更		
	SupportedModel 列挙型を PrinterModel 列挙型に名前変更		
	非対応のプロパティ、メソッドおよびイベントを削除		
	パッケージを変更		
V1.00	正式版リリース	20201030	FTP2166000R0_FTP-POS_Android_V100.zip
	埋め込みデータの送信エスケープシーケンスを削除		
	directIO メソッドによるバイナリデータ送信を追加		
V2.00	パッケージ名変更	20240222	FTP2166000R0_FTP-POS_Android_V200.zip
	FTP-629DSL350 選択時、プレゼンター非搭載製品で使 用できない現象修正		
	FTP-629DSL310, FTP-639USL100、FTP-639USL200、 FTP-62ECU200 FTP-627DSL440、FTP-63GDSL483、 FTP-62HWSL001 に対応		
	printBitmap メソッドの最大高さを 5040 ドットに拡張。		
	タイ文字に対応。		
	directIO メソッドに機能追加。		